

D-2 救急部門臨床研修プログラム

必修研修期間（救急部門 内科必須 4 週、他 3 診療科から選択）：8 週間

1 プログラムの目標と特徴

釧路管内の救急医療の一端を担っている当院において、より高度な救急医療を研修するためのカリキュラムである。

2 プログラム指導者と研修施設

- (1) プログラム指導者：釧路労災病院副院長（内科部長） 宮城島 拓人
- (2) 指導医：釧路労災病院副院長 小笠原 和宏、放生 憲博
釧路労災病院脳神経外科部長 磯部 正則
- (3) 基幹施設：釧路労災病院内科、外科、整形外科、脳神経外科
- (4) その他：釧路労災病院全診療科

3 教育課程

救急

4 週間は内科、残り 4 週間は外科、整形外科、脳神経外科のいずれかに在籍し、救急の研修を行う。

イ 緊急処置を要する患者であるかどうかを判断できるように修練する。

ロ 最終的に医師として、将来どのような分野に進んでも必ず係るであろう病態や疾患、外傷の患者の緊急状態に対して適切な判断、処置が出来るような臨床能力を身に付ける。

4 研修医の勤務時間

勤務時間は、8：15～17：00を原則とする。しかし、時間外緊急手術で上記勤務時間を超えて診療を行う場合もある。

5 評価方法

自己評価表の提出と、指導医の評価による。

※自由選択において、釧路赤十字病院・市立釧路総合病院・旭川医科大学病院で救急部門又は麻酔科の研修を行う場合は、当院臨床研修協力型病院臨床研修プログラムの規定に準ずる。

※臨床研修評価システム（EPOC）による評価を行う。